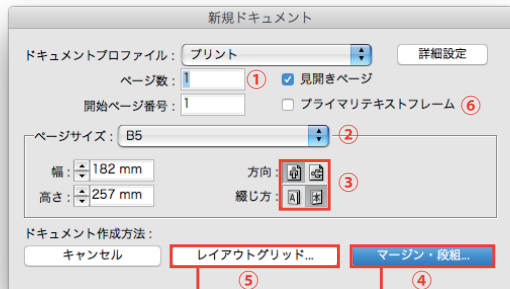


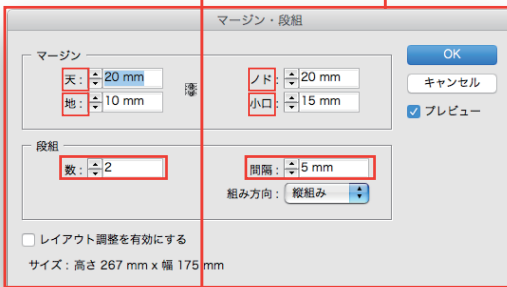
新規書類 / マージンと段組・レイアウトグリッド

InDesign で罫N (新規ドキュメントの作成) をすると最初に聞かれるのがページ数①と書類サイズ②、組方向③。そして「マージン・段組の設定④」と「レイアウトグリッドの設定⑤」です。ではそれぞれどのような機能なのでしょう。

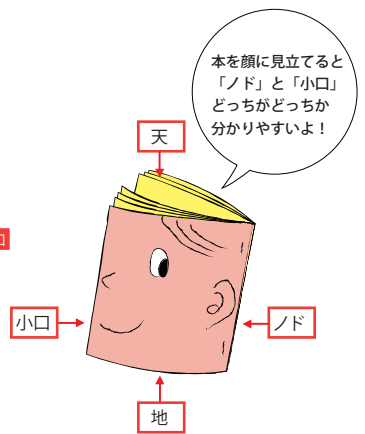
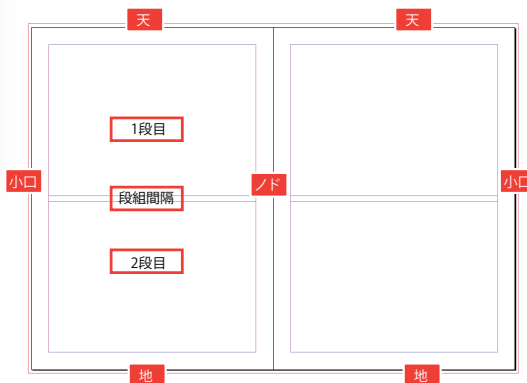
● 新規ドキュメントを作成する【メニューバーのファイルから新規書類もしくは罫Nする】



- ① ページ数 これは最初に分かっていれば入力しよう。分かってないければ、後からでも増やせるので1でもOK!
- ② ページサイズ 仕上がりサイズ。半分のページのサイズなので、見開きだとここに入力したサイズの倍になる。
- ③ 組み方向・綴じ方 用紙の方向と、本の閉じ方。横組みだと左綴じ「A」の方になり、縦組みだと右綴じ「本」の方になる。
- ④ マージン・段組 ページの天地ノド小口からの距離と段数を設定できる。あくまでガイドなのではみ出しても問題はない。
- ⑤ レイアウトグリッド 主に書籍のデザインの際に使う。ここでテキストグリッドを設定しても、しないで後でテキストグリッドツールを使って書いても基本同じ。ただここで設定しておくと、他のアプリで打った文字をコピーした時に自動的に設定した書体でペーストされる。
- ⑥ プライマリテキストフレーム 各ページにテキストフレームを最初から作ってくれる。



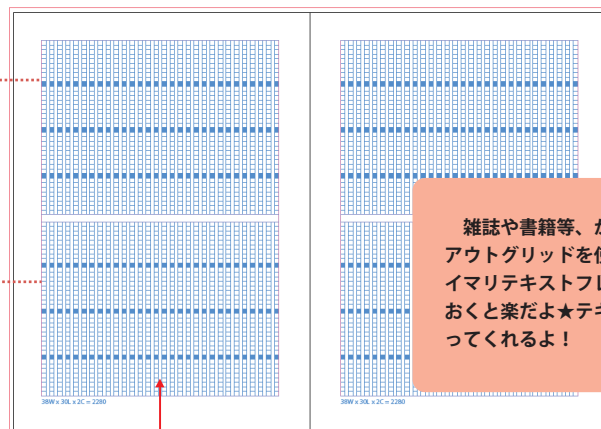
● マージン・段組の設定



ポートフォリオ作ったり少数ページのものを作ったりする時はレイアウト・グリッド設定せずにマージン段組設定をすればいいよ ^ ^
マージンの幅は自分でルール設定すればいいよ。あんまり本の縁ギリギリまで要素が来ると窮屈な感じになるのでそれを防ぐためのガイドがつくだよ。もちろん後から変更も可能! その場合は「メニューバーのレイアウト」から「マージン・段組」を選んでね。



- ★ レイアウトグリッド設定では、使用する文字や文字の大きさを指定できるよ。ん? 見覚えのない単位?
そうだね、文字サイズの単位は「Q」行間の単位は「H」ってなってるよね。これは日本ならではの単位なんだ。詳しくは「級 (Q) と 歯 (H)」説明ページを参照ください。



雑誌や書籍等、かっちり組みたい時はレイアウトグリッドを使うお! この時は⑥のプライマリテキストフレームにチェックを入れておくと楽だよ★テキストフレームを自動で作ってくれるよ!

